

外来生物「メリケントキンソウ」に注意しましょう

メリケントキンソウの特徴

- メリケントキンソウは、南アメリカ原産の植物です。
- 公園、運動場、道端、空き地、芝生などの明るい場所に生育し、草丈は 5～10cm で地面をはうように生えます。
- 秋頃に芽を出し、4～5 月頃に花を咲かせ、5～6 月頃に実をつけます。
- 実には 2mm ほどのトゲがあり、実が熟すとトゲが固くなり手や素足に刺さるとけがをすることがあります。
- また、靴で踏むと、靴底にトゲが刺さったまま移動することになり、知らず知らずのうちに他の場所に広げてしまいます。
- 鳥取県内でも米子市や日吉津村、鳥取市でも生育が確認されています。



メリケントキンソウ



メリケントキンソウの果実



熟してかたくなった種子

メリケントキンソウを見つけたら

- メリケントキンソウの駆除は、実ができる前の 3～4 月に行うことが有効と言われています。
- 見つけたら、**手での抜き取り、刈り払い、可能な場所では除草剤**（芝生内で生育している場所では、芝生を枯らさない薬剤）**で駆除してください。**
- 実ができてからだと、ケガをしたり、トゲが靴に刺さって他の場所に運んでしまうおそれがありますので、実が付くまでに駆除をしてください。
- 万ートゲのある時期に駆除を実施する際には、厚手のゴム手袋などを使用しケガの無いよう十分に注意しましょう。

お問い合わせ先

メリケントキンソウについて、ご質問などがありましたら下記まで御連絡ください。

管轄区域	窓口	電話番号
東 部	県庁自然共生課	0857-26-7978
中 部	中部総合事務所環境建築局環境・循環推進課	0858-23-3276
西 部	西部総合事務所環境建築局環境・循環推進課	0859-31-9628